

場所	分類
原子炉建屋内 RB	
タービン建屋内 TB	
R ZONE R	
Y ZONE Y	
G ZONE G	
その他( ) Z	

RB  
3

1 時間
2 距離
③ 遮へい
4 線源の除去
5 遠隔、バッフル化
6 汚染拡大防止
7 その他

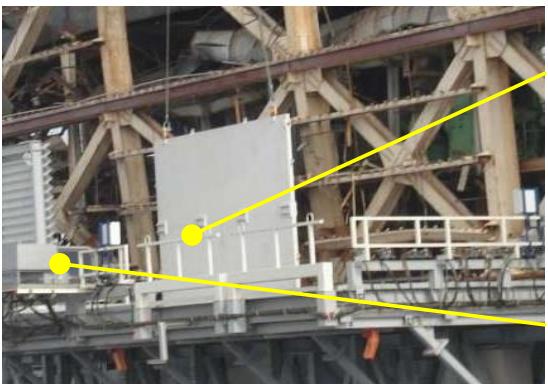
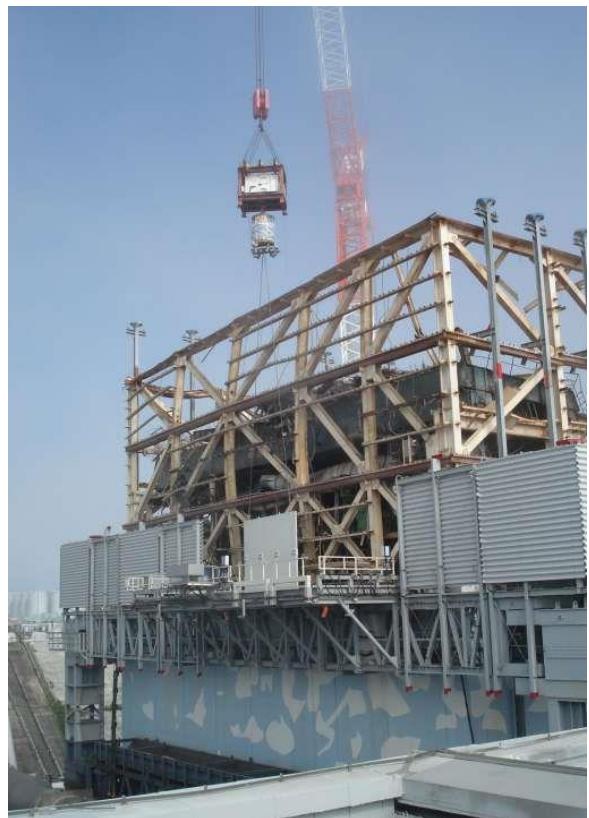
## 被ばく低減対策好事例集

番号 30-03-01

内 容	遠隔操作設備設置時の遮へい		
作業場所	1号機原子炉建屋5FL(オペフロ) 周り		
概 略	オペフロに堆積しているガレキ等を遠隔工法で撤去するため、原子炉建屋周りに遠隔操作のための電源・通信設備を設置する。		
評価 (定性・ 定量)	効果	対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	21.0/8.0
		人工数(人日)	--
事例詳細			

対策前 作業床での線量率が高線量率であった。

対策内容 梁強度の関係から全面的な遮へい設置が不可となったため、作業エリアとなる場所にクレーンで遮へい体を吊つて作業場所の線量率低減を図った。



遮へい前→後  
21.0mSv/h  
↓  
1.0mSv/h

遮へい前→後  
8.0mSv/h  
↓  
4.0mSv/h

作業エリアの周囲気線量率が低減

遮へい体厚さ: 80mm  
同質量 : ~700kg

南作業床吊り遮へい状況